

一般社団法人長浜青年会議所 2017年度 事業報告書

総括概要

本年度、第62代理事長 中村直樹理事長のもと

基本方針 「克己」

自らの無限の可能性を信じ

常に己を奮い立たせ

希望溢れる湖北を創造しよう

運営方針

○湖北都市圏創造構想を推進し、希望溢れる湖北を創造しよう

○己に打ち克つ強さを持ち、常に前を向き邁進しよう

○湖北を牽引する使命感をもち、積極的に地域に貢献しよう

○会員同士の友情を育み、会員と共に進化する組織を創ろう

を掲げ、一般社団法人長浜青年会議所「湖北都市圏創造構想」の3年目として、構想の実現に向け、湖北に多くの人が集まり持続的発展を目指した活動のステップアップを展開致しました。そして「克己」の精神のもと、メンバーがしっかり前を向き己を奮い立たせ、希望溢れる湖北を実現していく1年を過ごしました。

重点事業報告

湖北都市圏創造構想推進事業

LOVE FOR KOHOKU実行委員会設立

今年度は湖北のシンボルとなる湖北八景を創出するために、湖北内の人々だけでなく地域の枠組を超えた人々と共に湖北八景を精選し、企業の強い発信力を使って湖北内外の誰もが共有できるよう広く周知する必要があると考え運動を推進してきました。運動を進める中で、人々を湖北内外から呼び込むことができる観光、その中でも着地型観光に着目し、私たちが中心となって観光に携わる行政、各種団体、企業を巻き込みながら湖北らしさ溢れる湖北八景を精選しました。

そして、我々が精選した湖北八景を、行政、各種団体、企業、そして地域住民と共有し、湖北内外に幅広く発信する事業を実施することが必要であると考え、私たちの運動に賛同して頂いている長浜、米原市の行政の方々、企業、諸団体参画者を中心に、実行委員会を設立しました。実行委員会を設立したことで地域住民が主体的に取り組む賑わいと活力の源泉となる湖北八景を湖北の共有財産として多くの方に賛同を頂くことができました。



湖北都市圏創造構想推進事業

青少年育成委員会 コホクビジネスアカデミー2017

～青少年よ大志を抱け湖北を変えるのは君たちだ!～



本年度は企業と行政関係者と共に、子ども達が目標を達成する仕組みを学び、自らの手で地域を変えていける気概を持った子どもをつくる為に運動を展開してきました。子ども達が、社会での実学を通し達成感を得ることで、自らの行動が地域に対して影響を与え、未来の湖北を創る子どもに成長してもらう為に、8月19日(土)、9月18日(月)、9月23日(土)の3日間に渡り、長浜市内の公共施設にてコホクビジネスアカデミー2017～青少年よ大志を抱け!湖北を変えるのは君たちだ!～を開催させて頂きました。事業では、長浜・米原の歴史や文化を学び地域素晴らしさを知りながら湖北にしかない魅力的なお土産をつくりました。実際に自分達で商品の立案から関わり、販売するまでのプロセスを経験することで、自らの行動が地域に対して影響を与えることを感じて頂きました。

事業1日目では、地域の歴史や文化を学び、全国や世界に発信したい湖北の魅力を話し合いました。また、協力企業様のお店へ伺い、SWOT分析を用いて企業や商品の強みや弱み、機械や脅威などの調査を行い、子ども独自の分析ポイントを見つけてもらいました。事業2日目では、1日目で調査した内容をもとに考えた自らのアイデアを持ち寄り、魅力的なお土産とするための議論をグループ内で行いました。また、グループで考え出した商品を販売するための看板やPOP、パネル作りなどを、お客様の目線で考えながら作りました。事業3日では、2日間を通じて企業の方と協力し作り上げた商品の魅力をお客様に説明しながら販売しました。また、お客様にお土産の説明をし、買っていただくことで、子ども達に達成感を味わってもらいました。子ども達の発表や子ども、企業アンケート結果からも、このような体験から大きな成長が得られた、今後も積極的に参加したい、という前向きな成果を得る事ができ、Vision16の理念と重要性を深く理解して頂くことができました。

湖北都市圏創造構想推進事業

LOVE FOR KOHOKU 感じよう湖北魂!

～湖北八景が創る新世界～

私たちが精選した湖北八景誕生を県内外から人を惹きつけ強い輝きを放つ湖北のシンボルへと成長させるため、8月26日(土)に「LOVE FOR KOHOKU 感じよう湖北魂!～湖北八景が創る新世界～」を開催させて頂きました。たくさんの方々や企業にご尽力を頂き、活力が集まった湖北八景を湖北内外に広く発信することができました。

昨年に引き続き参会者の方々には、自転車にて湖北八景を巡って頂きました。湖北八景を巡って頂く中、エイドステーションを設け、そこに住む方々に其々の地域についての魅力を説明して頂きました。エイドステーションでは、湖北の良いところを再認識して頂き、多くの方々と交流が生まれたことで湖北八景への注目を集めることに繋がりました。また本年度は、㈱モンベル様やジャパンエコトラック様の後援を頂き、ロゴの使用やジャパンエコトラック様が推奨しているコースを活用し湖北八景の価値を高める取り組みを行いました。その他にも湖北八景を体感して頂く為の新たな試みとして、湖北八景フォトスクールバスのプログラムをオリンパス㈱様にご協力頂き実施しました。精度の優れているカメラを使い、写真撮影のプロから指導頂いたことで、参加者の方々には湖北八景への興味を深める内容とすることが出来ました。参加者の方々に撮影頂いた写真を、豊公園ステージスクリーンにてご覧頂き、改めて湖北八景の素晴らしい景観を知って頂く事が出来ました。

豊公園内のプログラムにおいては長浜市、米原市内の園児たちの描いたキッズアートの展示や宝探し、その他にもステージプログラムでは地元の方々のパフォーマンスなどを企画し多くの方々にご来場頂きました。プログラムの一部に湖北八景誕生セレモニーを行い来場者の方々に湖北八景を発信する機会とすることができ、豊公園全体を使い、湖北八景に対する認識を深めこれからこの地域を盛り上げていこうとする気概を持ち、行動力を高める事業とすることができました。

事業後には、地元有識者と湖北八景を精選し、外部企業の発信を使い湖北が一つとなる事業を構築できたことに評価をいただき、長浜市、米原市の両市長から湖北八景の公認をいただくことができました。この湖北が一つとなる運動を波及させる事業を行ったことで、湖北に住みたい、住みつづけたいと感じるまちを実現することができたと思います。今後、湖北八景が湖北のシンボルとしていくために、湖北八景を地域の方々と共に発信し、湖北地域の共有財産として多くの人々を惹き付ける運動にしていきたいと思います。



湖北都市圏創造構想推進事業

新湖北グランドデザイン創出プロジェクト

～びわ湖と共生するまち湖北の実現へ～

本年はびわ湖を経済的視点で捉え、びわ湖の活用を柱とした湖北のグランドデザインの骨子を形作り、関係者と共に湖北の展望を明確に持つべく、運動を展開して参りました。訴求力の高いびわ湖の活用と、グランドデザインの骨子を見出すために大きく三つの取り組みを実施してきました。

一つ目の取り組みとして、「びわ湖の新たな活用を創出する集い」と題し、びわ湖の活用方法について県会議員をはじめ、湖北の経済人や行政、学術研究者など、産官学の有識者を交えワークショップ形式で意見交換を行いました。ここで私たちの考えるびわ湖の活用が形作られたと共に、びわ湖に流入する河川にも着目した活用を見出すことができました。

二つ目に、様々な形でびわ湖に触れている人々の意識調査をするべく、現在の法規制の中で実現できたさいかち浜活用案を社会実験として現地さいかち浜にて実施しました。この社会実験での意識調査で、県内外を問わず非常に高い割合でびわ湖の活用を期待し、多くの方々が更なる活用を求めているというデータを得ることができました。

そして最後に、9月9日長浜バイオ大学にて「新湖北グランドデザイン創出プロジェクト～びわ湖と共生するまち湖北の実現へ～」と題したフォーラムを開催させて頂きました。



このフォーラムは3部構成で実施し、株式会社博報堂の岩寄博論様の基調講演により、びわ湖の経済的価値を訴え、長浜青年会議所の主張においては、私たちの考える理想の湖北へ繋がる新湖北グランドデザインの骨子を発信し、水都大阪の忽那裕樹様、国土交通省の尾藤文一様や行政関係者と中村理事長でのパネルディスカッションでは、びわ湖の活用の有益性や、私たちのグランドデザインの骨子について、意見交換を行いました。地元企業や行政、議員の方々へ、びわ湖の経済的価値や水辺を活用した最先端のまちづくりの事例の発表を通じて、今後湖北がどのような展望を持つべきかを考え共有することができる良い機会となりました。

事業後の検証においては、今後の湖北について青年会議所と行政や地元企業と政策論議を深めていくべきであるとの意見を多数いただき、これから各種関係者を巻き込みながら運動を進めて行く大きなきっかけとなる1年にすることが出来ました。

会員旅行

～みんなで行こうK・I・Z・U・N・Aの旅～

4月8日(土)9日(日)に、会員旅行～みんなで行こうK・I・Z・U・N・Aの旅～を淡路島、三宮そして芦屋で開催させて頂きました。4月8日の早朝より長浜市役所を出発し、兵庫県淡路市多賀にある伊弉諾神社へ参拝させて頂きました。古事記にも登場する伊弉諾神社では、伊弉諾神社の宮司を務めておられる淡路青年会議所の本名佑至(ほんみょう ゆうじ)様にこの地域に纏わる諸説を語っていただきながら、境内を案内して頂きました。そしてイングランドの丘では、チーム対抗によるオニオンピックを行いました。淡路島に由来するクイズや、各委員長による大声コンテストでポイントを競い楽しい時間を過ごしました。またオニオンピックの優勝チームには、淡路島名産であるタマネギの贈呈をさせて頂きました。淡路島最後のプログラムである、うずしおクルーズは残念ながら霧の影響で欠航となってしまいましたが、三宮での大懇親会もあり充実した一日になりました。二日目は芦屋マリンセンターで、関西龍舟様にご協力頂きドラゴンボートに挑戦しました。ドラゴンボートは見た目以上に難しく、最初は漕ぎ手の呼吸が揃わずに四苦八苦でした。最後は2チームでのタイムレースを行い、大変楽しい時間を過ごしました。手をマメだらけにしながらも、改めてチームワークの大切さを感じることができ、夏に向け本格化する様々な活動への士気を高めることが出来ました。



6月公式訪問例会

滋賀ブロック協議会公式訪問懇談会・懇親会

6月8日(木)北ピコホテルグライツィエにて公益社団法人日本青年会議所近畿地区滋賀ブロック協議会役員団の皆様をお招きし長浜青年会議所6月公式訪問例会並びに滋賀ブロック協議会公式訪問懇談会を開催させて頂きました。

冒頭、滋賀ブロック役員団及び長浜青年会議所役員紹介に続き、滋賀ブロック協議会第47代会長清水厚芳ブロック会長の挨拶から始まり、日本青年会議所及び滋賀ブロック協議会の活動について大変貴重なお話を聞く事が出来ました。そして長浜青年会議所中村理事長から2017年度の長浜青年会議所の基本方針説明があり、湖北都市圏創造構想に基づいた各委員会の担いについて滋賀ブロック役員団の皆様にご説明させて頂きました。

続く懇談会では「委員長会議IN長浜～私の熱い思い～」と称した意見交換会を行い滋賀ブロック各委員長と、長浜青年会議所各委員長とが向かい合わせに座り良い緊張感の中お互いの活動について質疑応答をさせて頂き、青年会議所らしい熱い議論を交わす事で、滋賀ブロック役員団の方々や参加者に熱き思いを感じて頂ける有意義な時間となりました。

例会後の滋賀ブロック協議会役員団の皆様との懇親会では滋賀ブロック役員団の方々を歓迎し長浜の歴史を表現した寸劇で始まり、膝を突き合わせながら同郷である滋賀の明るい未来について大いに語り合い有意義な時間を過ごしました。



近畿地区大会尼崎大会

KICK OFF ONE FOR KINKI ブース出展

7月8日(土)兵庫県尼崎市にて近畿地区大会尼崎大会「KICK OFF ONE FOR KINKI」にてブース出展を致しました。近畿地区内の各地会員会議所がそれぞれの地域の特産物を持ち寄り地域の魅力を発信するという趣旨に賛同して、一般社団法人長浜青年会議所からは、湖北の名産品を使用し地域の魅力を共感しあえるものとして、長浜曳山祭りがユネスコ無形文化遺産登録されたことを記念して作られている長浜市の(株)黒壁様のAMISUの「黒壁小町～子ども歌舞伎シリーズ～」を提供させて頂きました。長浜市観光振興課のご協力のもと、長浜曳山祭りのパンフレット・チラシ・長浜市観光ガイドを黒壁小町と一緒にお渡したことで、近畿中の皆様に湖北の魅力をPRすることができ、共感の輪を広げることが出来ました。



広報戦略委員会

湖北マルごとマネキンチャレンジ!!

～ミライに残そう湖北のイマを～

7/29(土)、長浜市公園町の豊公園において、湖北マルごとマネキンチャレンジ!!～ミライに残そう湖北のイマ～を開催させて頂きました。長浜青年会議所メンバーと市民の方々で総勢120名で、話題のマネキンチャレンジに挑戦し湖北地域のPRに繋がる映像作品作成に向けた撮影を行いました。

この事業を通じて、我々長浜青年会議所メンバー1人1人が組織の広告媒体であり、一人一人の行動そのものが組織の認知向上につながることを示すことができました。また人々の共感を集める為のSIPSフレームワークという手法に基づき事業を展開し、今後の長浜青年会議所として組織全体、また各事業においても運用することができる広報手段の礎を築けたと確信しています。

今年度のこの事業や広報戦略委員会の活動の具体的な成果としては、ホームページアクセス数が17,000を超え、2013年のカウンター設置以降最大となりました。また引継ぎ運用を行ったFacebookにおいても友達数を前年度末から140名以上増加させ総数が500名を超えることができましたし、投稿平均リーチ数も1000ビューを超え多くの方に情報を発信することができました。そして新たに運用を開始したInstagramにおいてもフォロワー数が250名を超え、湖北地域のみならず全世界に情報を発信することができました。YouTubeにおいても映像作品再生回数が400を超え、その他の動画も順調に再生回数を伸ばすことができました。

今後も長浜青年会議所が湖北地域において存在感を示していくうえで、引き続き積極的な広報活動を行っていきたいと思います。



経営者研修事業

経営寺～100年企業を目指して～

10月21日（土）、22日（日）に2017年度経営者研修事業「経営寺～100年企業を目指して～」を京都府宇治市の青少年文化研修道場で開催させて頂きました。

企業を発展させ続けることができる企業経営者とは人財、資金、時間などの経営資源を適切に配分できる人であると考え、その経営資源の中でも有限である時間を適切にとらえ配分していくことが最も重要であると考えました。そこで本事業では、自分自身を見つめ直す機会を設け、自らの残された時間を把握した上で、経営者としての死生観を養うことができました。事業内容といたしましては、まず自分の生誕から100年が記載された100年カレンダーを使用し、己の死及び経営者としての引退日を記載してもらいました。これにより時間が有限であることを視覚的に参加者に強く訴えることができました。そして、100年後も発展し続ける企業になるために必要なことと題して、参加者に自社において100年後も発展して続けるために何が必要かを考えてもらい、それが時間の制約の中で実現可能なかを100年カレンダーに落とし込んで考えてもらいました。各段階でグループごとに意見を出し合う時間を設けることにより、自分の考えを整理することができるのと同時に、自分の意見を人に話すことにより決意表明になったと考えます。

最後にこの事業を1泊2日で日々の喧騒から離れ凍とれた雰囲気のある異空間であるこの地で実施することができ、よりじっくりと自分自身の存在、人生及び会社のことを考える時間をもつことができました。



家族会～家族で楽しむハロウィンパーティー～

10月15日（日）、会員交流委員会主管のもとスタイリッシュコンフォート リィネアにて、2017年度家族会～家族で楽しむハロウィンパーティー～を開催させて頂きました。ハロウィンにちなんで、様々な仮装で会場を盛り上げ、またミニゲームなどを行いました。子どもたちは会場を走り回りアットホームな一家団欒の時間を過ごすことができました。メンバーも普段とは違う一面を家族に見てもらうことができ、家族の皆様にとっても2時間という短い時間でしたが、有意義な時間となりました。



2017年度FTセミナー

夢追い「前へ」～我らの思考は現実化する!～

11月11日（土）に2017年度FTセミナー 夢追い「前へ」～我らの思考は現実化する!～を湖北地域一帯で開催させて頂きました。

本年度新入会員指導委員会では、己の無限の可能性を実感し、多様な経験を通して自己成長を図れるよう活動してきました。今後も更なる継続的な自己変革を起こせるよう、自らの地域を改めて見つめ直しながら自らを啓発し、これから長く続く青年会議所活動を自己実現の礎とするために実施させて頂きました。事業内容としては、前半は「闊歩する！夢実現への道」と題し、山本山、賤ヶ岳、余呉湖周辺をトレイルウォーク体験しました。各ポイントにおいて新入会員が事前

に各名所や史跡について学習したことをメンバーに説明することで、新入会員にとっては積極的に地域に目を向けられる機会になり、メンバーにとっては現地で想像力を高める事ができる内容でした。後半は「宣言する！夢実現への道」と題し、新入会員が自らのおかれている現状と課題を顕在化させ、今後5年後の自分をイメージし、実現するまでのプロセスを事前に作製したパワーポイント資料をもとにメンバーに向けてプレゼンテーションを行いました。新入会員一人一人が真剣に自身と向き合い事業に向けて資料を作成してきたことがわかる内容でした。公聴していたメンバーも発表に真剣に聞き入っていて、メンバーにとっても新たな気づきと学びの場にして頂く事ができました。

最後に「青春の居酒屋」として事業で感じた事、思った事を議論する場を設けました。新入会員とメンバーが一日を共に過ごし、事業を達成した喜びを分かち合いました。



褒賞申請

本年度褒賞特別委員会では、一般社団法人長浜青年会議所が行ってきた事業や活動の整理、検証を行い、申請活動を通じて私達の運動を広く発信する事を目的として褒賞申請を行いました。

公益社団法人日本青年会議所近畿地区滋賀ブロック協議会に、「未来への挑戦！未来を切り開くのは君だ！満点に輝く星の下で」を申請しました。湖北都市圏創造構想を基に、Vision16 社会を創造する人材を育成する運動を整理し、検証を行いました。事業では、アントレプレナーシップを軸に甲津原地域において様々な体験から子ども達に社会的視野の広がりや探究心、実行力を与え、この教育の必要性を地域に投げかけた運動を発信しました。行政や企業家を巻き込んでVision16の教育プログラムを策定しその実践を通して構築した運動の流れを整理し、申請出来たことでグランプリを獲得することが出来ました。

公益社団法人日本青年会議所地域環境活性化部門に「LOVE FOR KOHOKU 2016 ～コホクノイットコイッパイ～」をまた、JCI Awards 2017長期的地域社会開発プログラムのカテゴリーに「湖北のグランドデザイン創出プロジェクト～びわ湖に触れるまち湖北の実現へ～」を申請しました。其々の申請においては、湖北都市圏創造構想を基に運動を整理し、検証を行いました。残念ながら両事業共受賞には至りませんでした。今後の運動や事業を展開していく上で、改めて青年会議所運動の本質を理解する貴重な機会になりました。

公益社団法人日本青年会議所が主催しますJCI JAPAN少女国連大使2017に渡辺翔子氏を申請させて頂き、全国30名に選ばれました。7月31日（月）～8月5日（土）にニューヨーク国連本部で研修を行い、その後8月21日（月）には三日月大造滋賀県知事、8月23日（水）には藤井勇治長浜市長に、また多数の湖北地域団体に活動報告を行いました。海外での交流を通して次世代の担い手と成長され国際社会でも活動できる人材を育成することに繋がり、又我々青年会議所活動発信の機会としても大変貴重な経験をさせて頂くことが出来ました。

広報戦略委員会の活動では、第31回人間力大賞申請に湖北で地域貢献活動を行う「人間力溢れる人材」として宮本麻里氏、児玉麻希氏の2名を申請しました。2名共書類審査を通過し全国50名に選ばれましたが、残念ながら最終選考に残ることは出来ませんでした。申請者と交流を重ねその活動や思いを理解し申請書を作成したことで地域に対する活動を全国に発信することが出来ました。

